世界環境遺産「知床」

知床は、平成１７年に国内３番目の世界環境遺産として登録されました。流氷に覆われる海域として有名ですが、オジロワシ、シマフクロウなどの希少動物が生息し、川にはシロザケなどが遡上します。その豊かな環境をいかに管理し保全していくかを模索しています。

知床の環境を体験しよう

手つかずの景観

知床半島は長さ約６５ｋｍ、幅は約２５ｋｍあり、硫黄山を最高峰として、活火山の羅臼岳、その先の知床岳などが連なり、突端の知床岬は草原となっています。その一方、先端部の斜里側の海岸は大部分が切り立った断崖で、容易に人を寄せつけません。その地形的特徴は知床の原生的な景観を守り続けてきました。

知床環境センター

センター内にある、高さ１２ｍ、幅２０ｍの大型スクリーン「ダイナビジョン」では、大空を羽ばたくワシの目になって知床の環境を空から見ることが出来る映像を上映しています。また、初心者向けに様々な情報提供をしており、知床５湖散策やカムイワッカの滝、フレペの滝などの観光の起点になっています。

知床五湖　散策ツアー

　認定ガイドと一緒に歩き、絶景の知床の環境を体験してみませんか？

日時：６月５日　９時スタート

集合場所：知床環境センター

駐車場入口付近

費用：お一人様　１０００円

所要時間：約３時間

主催：ネイチャー観光　企画部

散策の注意点

「野生動物に餌を与えない」「ゴミは各自お持ち帰り」「調理や食事をしない」「禁煙」「湿原や植生を踏み荒らさない（歩道から外れないこと）」「立入が制限された地域には立ち入らない」「動植物を故意に持ち込まない（ペットを連れて入ることはできません）」

自然体験コース多数あります。

詳しくはＨＰをご覧下さい。URL:http://www.az.co.jp/shiretoko/trial/090605-course.html